

## 6 「いしかわ地域づくりシート」記載について

### (1) 記載方法【地域分析シート】

#### 作成にあたっての留意点

- より多くの住民が参画できるよう、このシートに反映することができるアンケートの実施も考えてみましょう。
- このシートを地域住民が参加する公民館での講座の企画や公民館運営審議会、町内会総会、班長会などの住民が集う機会に活用しましょう。
- 縣市町の「教育振興基本計画」「総合計画」「総合戦略」「生涯学習ビジョン」や地域づくりに関する助成事業について調べておきましょう。

地域づくりを進めていくには、まず「地域を知る」ことが大切です。皆さんの「地域カルテ」のようなものです。できるだけたくさん・具体的に情報を集めましょう。

地域名 (                      市・町                      地区)                      記入者

#### 【STEP 1】「地域の現状・実態・特性」を調べて示しましょう。

#### 地域の現状・実態・特性

##### 【Check】

- ◎ 日頃、感じたことや気がついたことを記入しましょう。
- ◎ 地域の情報を収集し、地域の特性を見つけましょう。
- ◎ 国勢調査で多くの統計資料が得られます。



##### [収集情報の一例]

- 人口 ○世帯数 ○世帯構成(一世帯あたり人員) ○年齢別人口(割合) ○高齢者人口 ○生産年齢人口
- 団体加入率(自治会・子ども会・敬老会・女性会・青年会) ○教育・文化施設 ○地元企業・商業施設 ○福祉・医療施設

##### [公民館等の状況]

- 利用者数 ○年間会館日数 ○講座・事業数 ○登録団体数 ○地域課題解決に向けた講座・事業数

#### 【STEP 2】見えてきた地域の実態から、「地域の課題」を把握しましょう。(地域社会のニーズや住民の要望等のバランスを考慮)

#### 地域の課題

##### 【Check】

- ◎ 地域の実態から「地域の課題」を抽出してみましょう。
- ◎ 数ある課題の中から、緊急性や実現性に応じて優先順位をつけることも大切です。「生涯学習・社会教育」(学びから始まる地域づくり)の観点から課題を整理してみましょう。
- ◎ 地域の実態等(【STEP 1】)を、資源と捉えるか、課題として捉えるか視点を整理しましょう。  
例：高齢者が多い(資源 or 課題?)
- ◎ 顕在化している課題だけではなく、潜在化しているものを顕在化(見える化)させて把握することも大切です。

#### 【STEP 3】「地域の資源(ヒト・モノ・コト)」を積極的に活用するために、アンテナを高くして広く、できるだけ具体的に洗い出しましょう。

(いつも見慣れた・ありふれた資源と思っても、その活用法によって宝になる場合もあります。多方面から捉えましょう。)

#### 地域の資源(宝)

##### ヒト

- 住民(キーパーソン・協力者) ○町会連合会 ○公民館等団体利用者(サークル等)
- 社会福祉協議会 ○学校(児童生徒、教職員、保護者) ○NPO ○ボランティア団体
- 民生委員、保健師 ○敬老会、女性会、子ども会 ○地元企業 ○地域おこし協力隊 等



##### モノ

- 特産物・生産物 ○公共施設(集会所・公園・駅)
- 公共交通 ○教育・文化施設(学校・図書館・博物館)
- 地元企業・商業施設 ○福祉・医療施設 ○文化財・史跡 等



##### コト

- 歴史 ○文化 ○郷土料理 ○伝統行事
- 産業 ○観光 ○自然・環境 ○伝統芸能 ○防災・防犯・地域安全活動 等



#### 【STEP 4】「理想の地域像」「将来像」など課題解決の方向性についてイメージを描いてみましょう。

#### 理想の地域像

##### 【Check】

- ◎ 解決の方向性を描き「理想の地域像」をイメージしよう。
- ◎ 地域の現状や課題が将来的にどのようなになっているのが理想的か考えてみましょう。
- ◎ 市町の「総合計画」「総合戦略」「生涯学習ビジョン」や地域づくりに関する助成事業について調べておきましょう。

#### 【その他】これから皆で共通理解する必要があると思う事項がありましたらどんどん記載しよう。

地域分析シートを基にして【企画シート『コデル CoDeL』】を作成していきましょう。